

平成29年度  
日田市体力向上アクションプラン

平成29年3月  
日田市教育委員会

「芯の通った学校組織」推進プラン（大分県教育委員会）に基づく  
平成29年度 日田市体力向上アクションプラン

日田市教育委員会

日田市教育委員会では、「目標達成に向かって組織的に取り組む『芯の通った学校組織』」推進プラン（大分県教育委員会）に基づいて、平成29年度の体力向上アクションプランを作成しました。

平成28年度の実績とその結果に基づき、平成29年度は、本プランに基づいて、日田市の児童生徒の体力向上に向けた取組を進めていきます。

## もくじ

1	日田市児童・生徒の体力の状況および課題	・・・・・・・・・・	2
2	平成29年度の目標及び指標	・・・・・・・・・・	4
3	平成29年度の行動計画	・・・・・・・・・・	5

# 1 日田市児童・生徒の体力の状況および課題

## 平成28年度児童生徒の体力・運動能力等調査の結果

### (1) 体力・運動能力

#### ①小学生

##### ○全国比達成率

全国比達成率	全体	男子	女子
日田市	84.4%	85.4%	83.3%
大分県	82.3%	83.3%	81.3%

\*全国比達成率とは、1学年あたり以下に示す8種目の調査項目について、男女別、全6学年分を総計した全96項目に対して、全国平均以上もしくは全国平均と同等と認められる項目数の割合の事です。

調査項目：

握力（筋力）	上体起こし（筋持久力）	長座体前屈（柔軟性）
反復横とび（敏捷性）	シャトルラン（全身持久力）	50m走（瞬発力）
立ち幅とび（瞬発力）	ソフトボール投げ（筋力）	

##### ○体力テスト合計点における総合評価C以上の割合

	C以上の割合	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
男子	日田市	81.8%	79.9%	77.0%
	大分県	76.8%	79.8%	78.6%
	全国	76.4%	78.7%	80.0%
女子	日田市	82.0%	84.8%	81.7%
	大分県	78.3%	81.6%	83.0%
	全国	81.9%	82.6%	84.5%

\*体力テスト総合判定とは、調査8項目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計80点満点を高いほうからABCDEの5段階で評価したものです。

#### ②中学生

##### ○全国比達成率

全国比達成率	全体	男子	女子
日田市	75.0%	83.3%	66.7%
大分県	66.7%	79.2%	54.2%

\*全国比達成率とは、1学年8種目の調査項目（小学生に同じ：ソフトボール投げについては、中学生の場合ハンドボール投げとなる）について、男女別、全3学年分を総計した全48項目に対して、全国平均以上もしくは全国平均と同等と認められる項目数の割合の事です。

調査項目：

握力（筋力）	上体起こし（筋持久力）	長座体前屈（柔軟性）
反復横とび（敏捷性）	シャトルラン（全身持久力）	50m走（瞬発力）
立ち幅とび（瞬発力）	ハンドボール投げ（筋力）	

○体力テスト合計点における総合評価C以上の割合

	C以上の割合	中学校1年	中学校2年	中学校3年
男子	日田市	66.4%	79.0%	84.7%
	大分県	67.8%	77.7%	84.2%
	全国	64.7%	78.5%	86.1%
女子	日田市	93.6%	91.4%	88.7%
	大分県	90.7%	89.3%	84.3%
	全国	92.7%	90.6%	90.2%

(2) 生活習慣

○小学生

調査項目	性別	日田市	大分県
・ほとんど毎日(週3日以上)運動している児童の割合 ※学校の体育の授業を除く ※H28年度は徒歩通学や外遊びも含む	男子	65.3%	70.2%
	女子	50.7%	58.6%
・朝食を毎日食べる児童の割合	男子	84.1%	83.6%
	女子	86.9%	85.2%
・運動することが好きと答えた児童の割合	男子	70.8%	72.2%
	女子	56.1%	55.6%

○中学生

調査項目	性別	日田市	大分県
・ほとんど毎日(週3日以上)運動している生徒の割合 ※学校の体育の授業を除く ※H28年度は徒歩通学や外遊びも含む	男子	89.6%	85.5%
	女子	77.6%	69.5%
・朝食を毎日食べる生徒の割合	男子	81.7%	83.4%
	女子	84.2%	83.0%
・運動することが好きと答えた生徒の割合	男子	66.3%	68.0%
	女子	42.6%	47.9%

(3) 体力向上に向けての課題

①児童生徒に関する課題

- ・日田市の全国比達成率は大分県全体の結果を上回っており、良好な結果となりました。具体的項目では、小学校の50m走(瞬発力)、中学校の上体起こし(筋持久力)に課題があります。
- ・総合評価C以上の児童生徒の割合は、小学校男女別で6/12、中学校男女別で4/6の学年で全国の割合を上回ることができ、低体力層(D層、E層)の底上げは図られています。総合評価C以上の児童生徒の割合をさらに高めるため、体力・運動能力調査の分析にもとづいた課題の克服や運動の頻度を高める必要があります。

- ・「運動することが好き」の割合は、女子では小中学校とも昨年度の割合を上回り、改善傾向にありますが、男子は昨年度と同程度の結果でした。「短時間」や「ゲーム性」などをキーワードとして、運動の楽しさや喜びを味わわせ、運動への愛好度を高めていく必要があります。

## ②学校組織に関する課題

- ・市内全小中学校において、教務主任、体育主任を中心とした校内体力向上委員会で「体力向上プラン(一校一実践)」を作成し、組織的に取り組むとともに、保護者や地域の方々と交えた年2回の「体力向上会議」で、評価・見直しを行いました。児童生徒の運動への関心が高まり、運動の日常化・習慣化につながるよう、取組内容の見直しや改善・充実を図っていく必要があります。

## 2 平成29年度の目標及び指標

### 【目標】

#### (1) 児童・生徒の体力向上に関する目標

- 総合評価C以上の児童生徒の割合を高める。
- 「運動が好き」な児童生徒の割合を高める。
- 運動の日常化・習慣化を図る。

#### (2) 組織的取組に関する目標

- 「一校一実践」の取組を改善・充実させる。

### 【達成指標】

- 総合評価C以上の児童生徒の割合を、小学校低学年で82%、中学年で82%、高学年で82%、中学校1年生で82%、2年生で86%、3年生で88%まで高める。
- 運動することが好きな児童生徒の割合を、小学校全体で66%、中学校全体で60%まで向上させる。
- ほとんど毎日(週3日以上)運動している児童生徒の割合を小学校全体で60%、中学校全体で85%まで向上させる。  
※学校の体育の授業を除く、徒歩通学や外遊びも含む

### 【取組指標】

- 体育の授業の一部に、各学校の調査結果において課題がある運動能力調査項目に準じた内容を組み込む学校の割合が100%  
【市の課題】 小学校・・・「50m走」、中学校・・・「上体起こし」
- 学期に1回以上、「一校一実践」の取組内容の見直しや改善・充実を図る学校の割合が100%
- 児童会や生徒会主体の体育的活動になるよう内容を工夫する学校の割合が100%

### 3 平成28年度の行動計画

#### (1) 児童・生徒の体力向上に関する行動計画

##### ①教育委員会

- 市全体の課題や改善策、市内統一した重点項目の設定
  - ・体力運動能力等調査の結果を分析し、校長会、体育主任会議で提示
- 教職員の意識改革や指導力向上を促進する。
  - ・体育主任会議の実施（1回）
  - ・体育専科教員・体力向上推進教員の積極的な活用
- 各学校の「一校一実践」に対して指導・助言（提出時、視察時）

##### ②各学校

- バランスの取れた運動能力の育成
  - ・体育の授業の一部に、各学校の調査結果において課題がある運動能力調査項目に準じた内容を実施
- 運動の楽しさや喜びを味わわせ、運動への愛好度を向上させる
  - ・「日常的・繰り返し」「短時間」「ゲーム性」をキーワードとした体育的活動の設定
  - ・児童会や生徒会が主体となる全校・学年レクリエーション、同年齢・異年齢集団での体育的活動の設定
  - ・校内の体育環境の整備による運動の「時間」「空間」「仲間（集団）」の創出
- 運動の日常化・習慣化につながる体力向上プラン（一校一実践）の推進
  - ・運動への意欲が高まるような取組内容の設定と工夫
  - ・ホームページ及び日田市シンクライアントシステム上に掲載
- 児童生徒が主体的に取組み、学ぶ意欲が高まる魅力ある授業づくり  
（新大分スタンダードに基づく「めあて」と「振り返り」のある1時間完結型授業の確立）
- 中学校における部活動の時間の活用
  - ・校内部活動間の連携や共通目標の設定などによる活性化

#### (2) 学校組織に関する行動計画

##### ①教育委員会

- 体育専科教員の活用方法の工夫
  - ・体育専科教員の2名体制を維持し、実践事例や指導法の充実を全市的に広げる。
  - ・研究指定校（体育専科教員活用校・体力向上推進校）の実践例や研究成果を周知し、日田市シンクライアントシステム上に提示
  - ・研究指定校（体育専科教員活用校・体力向上推進校）の公開授業の実施
- 各学校の「一校一実践」優良実践事例の活用
  - ・校長会や体力向上会議、体育部会において周知
  - ・体育主任会議において、各学校の「一校一実践」の共有化を図り、各学校の取組への活用を促進
- 生活習慣の改善と食育の充実
  - ・各学校への栄養教諭の活用依頼と派遣（日程調整）

## ②各学校

### ○体育主任の役割の強化

- ・校内におけるミドルリーダー的存在をもって充て、組織的に取り組む体制づくりと校内研修の充実

### ○「一校一実践」の組織的な取組

- ・管理職のもと、教務主任や体育主任、部活動主任が中心となり、体力向上推進委員会を組織し、運動の日常化・習慣化につながるような体力向上プラン（一校一実践）を作成
- ・体力向上プラン（一校一実践）を年間2回の体力向上会議(夏季休業中及び2月)で効果を検証し、見直しや改善・充実を図る

### ○生活習慣の改善と食育の充実

- ・栄養教諭を活用した食育授業の実施（学年・学級）
- ・育友会、通信等を利用した保護者啓発